

京大発新興 T S K、廃木材由来フルボ酸の B S 製品化

2025年3月7日

農業資材

新製品



持続可能な農業の実現に寄与

京都大学発スタートアップの T S K（京都府精華町）は、廃棄木材由来のフルボ酸を主成分としたバイオスティミュラント（B S）を発売する。フルボ酸は、森林の土壌を形成する腐葉土などに多く含まれる腐植物質の一つで、アルカリや水に溶けるのが特徴。根の活性を高める効果などがあり農業資材としても使われているものの、多くは輸入に頼っていた。同社はコア技術である「鉄触媒技術」を用い、約 1 週間という短期間で的大量生産に成功。今後は国産のフルボ酸などを使った B S として展開していく。

新製品「鉄フルボさん T S 0 - 1」は 3 月 1 0 日に発売。水で 5 0 0 倍から 2 0 0 0 倍に希釈し、植物などに散布することで、葉や茎の成長促進や糖度の向上などが期待できる。化学農薬や化学肥料の使用量を抑え、持続可能な農業に寄与する。

販売価格（税別）は 1 キログラム品が 6 0 0 0 円、2 0 キログラム品が 1 1 万 4 0 0 0 円。E C サイト経由での通信販売を予定している。